

社会環境報告書2002

東日本旅客鉄道株式会社



地域・国際社会との交流

JR東日本は、社会の一員として地域・国際社会との交流に努めています。駅に各種行政施設や保育園を併設するなど、駅を地域のコミュニティセンターや地域情報発信の拠点とする施策を進めています。また、福祉、文化、スポーツ振興、国際協力を通じてさまざまなレベルでの社会貢献をめざしています。

地域活性化への取り組み

JR東日本では、駅を「旅の発着点」としてだけでなく、多くの人が集まる情報と文化の発信基地と位置づけています。そして、地方自治体が進めている駅周辺の整備計画に併せて、駅の橋上化などの駅改良や駅前広場整備などを各地で行っています。

これらの事業は、地域の活性化にも大きな役割を担っており、公民館や図書館などの公共施設と合築した駅舎など、コミュニケーションの場となっている例もあります。



コミュニティホール併設の羽越線羽後岩谷駅

旅のプレゼント

JR東日本は、日ごろ旅行に出かける機会の少ないハンディキャップを持つ方々へ、北海道の旅を楽しんでいただく「旅のプレゼント」を後援しています。残念ながら2000年度は、有珠山の噴火に伴い実施できませんでしたが、北海道への「旅のプレゼント」は、旅のプレゼント実行委員会により、1994年以来毎年実施されているもので、多くのボランティアがお手伝いするなか、専用のブルートレインなどを利用し、北海道の観光を楽しんでいただこうと企画されています。これまでに、同行ご家族を含めて約5,000名もの方々にご参加いただきました。

スポーツ大会の開催・協賛

JR東日本エリア内の少年剣士を対象に、日ごろの鍛錬の成果を発揮していただくとともに各地の少年剣士の交流を図り、少年剣士の健全育成をめざすことを目的に「JR東日本ジュニア剣道大会」を開催しています。2002年8月開催の大会で第13回を数えます。このほか、ガーラ湯沢スキー場や田沢湖スキー場でのスキー大会、関東大学サッカーリーグなどに協賛しています。



ジュニア剣道大会

駅型保育園で子育てサポート

駅というアクセスの良さを活かし、多様化する保育ニーズに応える保育施設の開園を支援することによって、子育てをサポートしています。1996年国分寺に駅型保育モデル園として1園目を開業して以来、自治体と協力しながら横浜市内の鶴見と小机、東京都内の北千住、西八王子、大森の各駅での保育園開園を推進してきました。当社のトッププライオリティである「安心」と「安全」の提供のため、防災対策や不審者対策はもちろん、信頼のおける保育事業者をパートナーに迎え、質の高い保育サービスを提供しています。



ポピンズナーサリー-JR小机



大森駅前保育園

鉄道少年団

鉄道少年団は、次世代を担う青少年の交通道徳の高揚を目的として(財)交通道徳協会が運営しているもので、1960年以降、全国各地で結成され、「駅清掃活動」「車内実践活動」「全国キャンプ参加」「各種鉄道施設見学」「鉄道の日イベント・各種行事への参加」などの活動を行っています。

JR東日本では、支社内などに鉄道少年団事務局を設置し、活動計画の作成、活動準備、団員への連絡、引率・指導などを行うほか、駅・車両や運転シミュレーターなど活動の場を提供するなど、鉄道少年団の活動を多面的・積極的に支援しています。



支社における鉄道少年団結成式

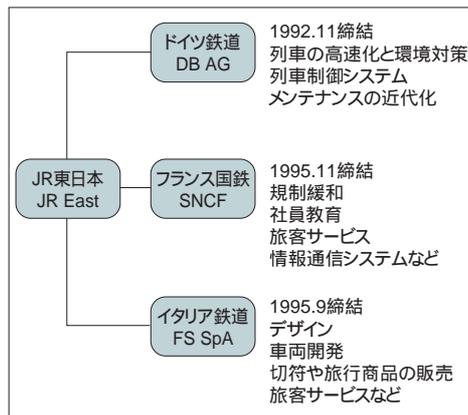
国際協力

国際社会への貢献・協力の一環として、海外へ社員を派遣したり、国際協力事業団（JICA）などの依頼で発展途上国からの研修生を受け入れて、講義・視察・実習などを中心とした積極的な国際協力を展開しています。なお、青年海外協力隊（JOCV）事業にも参加しています。

派遣	長期(1年以上)	フィリピン 1名
	短期(1年未満)	2カ国 7名
受け入れ	国際協力事業団(JICA)研修員	35カ国 163人

国際協力の2001年度実績

また、JR東日本は、1992年11月にドイツ鉄道、1995年9月にイタリア鉄道、1995年11月にフランス国鉄とそれぞれ協力協定を締結しました。これらは、技術開発や経営情報の交換、駅舎・車両のデザイン開発、人材育成、旅客サービス、旅行業など、幅広い分野での協力を目的としています。



協力協定を締結している外国鉄道



東日本鉄道文化財団
TEL : 03-5334-0623
URL : <http://www.ejrcf.or.jp/>

東京ステーションギャラリー
TEL : 03-3212-2485
URL : <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

東日本鉄道文化財団

東日本鉄道文化財団は1992年3月に、人間性豊かな鉄道文化、交通文化の醸成に寄与することを目的として設立されました。その活動は、「鉄道を通じた地域文化の振興」「鉄道に関する調査・研究の促進」「鉄道に関わる国際交流の推進」を3つの柱としています。

鉄道を通じた地域文化の振興

駅や鉄道のネットワークを活用しながら、芸術や文化を紹介・支援しています。東京ステーションギャラリーにおける展覧会、東日本の各地に残る伝統文化を後世に継承する「地方文化事業支援」、日本の鉄道発祥の地汐留における「旧新橋停車場」の復元など、さまざまな活動を行っています。

東京ステーションギャラリー

駅を単なる通過点でなく、薫り高い文化の場として皆さまに提供したいという願いをこめて、1988年、赤煉瓦の東京駅にギャラリーが誕生しました。「小さくても本格的な美術館」をモットーに、絵画だけでなく、彫刻、建築、デザインなど、さまざまなジャンルの展覧会を開催しています。

2002年度展覧会名	期 間
福王寺法林・一彦展	4月6日(土)~ 5月12日(日)
「東日本 彫刻」39の造形美	5月25日(土)~ 7月7日(日)
モンゴル近代絵画展	7月20日(土)~ 9月8日(日)
スキャンディナヴィア風景画展	9月21日(土)~ 11月10日(日)
有元利夫展	11月23日(土)~ 1月13日(月)
北野恒富展	2月1日(土)~ 3月23日(日)

開催展覧会



東京ステーション
ギャラリー

地方文化事業支援

東日本各地に残る伝統文化を後世に継承し、地域文化の振興を図るため、JR東日本の各支社から対象を募集し、1993年度より助成を行っています。(2001年度は助成件数12件、助成金総額5,100万円)



地方文化事業支援「新潟県柏崎市の綾子舞」

旧新橋停車場跡保存・復元

日本の鉄道発祥の地として国の史跡に指定されている「旧新橋停車場跡」に、1872年開業当時の駅舎の外観を再現する建物を建設します(2003年春開業)。当時の鮮明な写真や駅舎基礎から可能な限り正確に、本物が存在した「場所」の上に、開業当時の駅舎外観を復元します。併せて、史跡の見学窓を設置するとともに、ホーム及び軌道の一部を復元します。

駅舎内部は、当時の駅舎基礎石の見学窓や汐留で見えられた鉄道遺物などの展示によって鉄道の歴史や汐留の歴史を紹介する「鉄道歴史展示室」や、三國清三シェフのプロデュースによるヨーロッパスタイルのレストラン「グランカフェ新橋ミクニ」を設け、多くの人々が楽しめる機会を提供できるよう計画しています。



ホーム側より見た旧新橋停車場駅舎(1/100スケール模型)

鉄道に関する調査・研究の促進

交通関係の調査・研究の活性化や若手研究者の育成を目的として「鉄道文化と新しい交通社会の探究」を基本テーマに、鉄道に関する独創的な学術調査・研究への支援を行っています。(2001年度は助成件数13件、助成金総額2,159万円)

鉄道に関わる国際交流の推進

海外諸国との相互理解を深めるために、鉄道に関わる国際文化交流を推進しています。特に、わが国から国際社会に向けて積極的に情報を発信する活動を行っています。

海外鉄道研修生の受け入れ

アジア諸国(タイ・マレーシア・ベトナム・モンゴル・インドネシア)の各鉄道から若手幹部職員を日本に招聘し、約4カ月間JR東日本社員との交流や日本文化に接する機会を設けつつ、鉄道経営、鉄道技術などを学ぶ企業研修(JR East フェローシップ)を実施しています。

また、中国鉄道部からの研修グループ受け入れも実施するなど、国境を越えた鉄道会社間の文化交流を推進しています。

年度	JR East フェローシップ		中国鉄道部研修
1998	4カ国	7名	34名
1999	4カ国	8名	13名
2000	4カ国	8名	35名
2001	5カ国	10名	22名

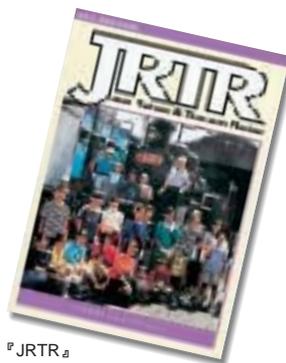
研修生の受け入れ実績

英文交通評論誌『JRTR』

(Japan Railway & Transport Review)の発行

鉄道を中心とした日本の交通事情を海外に伝えるとともに、交通問題に関する世界各国の有識者が意見を交換する「国際的な討議の場」を提供することを目的として、英文の交通情報・評論誌を発行し、同時にインターネット上でも公開しています。

JRTRホームページ
URL : <http://www.jrtr.net/>



『JRTR』